

## 平成 28 年度（第 5 回）近畿植物学会講演会

日時：平成 28 年 11 月 12 日（土）13:30～

場所：兵庫県民会館 303 室

プログラム：

○特別講演（13:30～15:00）1 題 30 分

- ・色素体とミトコンドリアの分裂増殖システムを読み解く  
吉田大和（理研・生命システム研究センター）
- ・水草ヒルムシロ属の環境応答と種分化  
小菅桂子（神戸大・院・理）
- ・花器官の配置のばらつきを表す数理モデル  
北沢美帆（大阪大・全学教育推進機構）

○一般講演（15:20～17:20）1 題 15 分

- ・ロクアイタンポポ（仮称）は岡山・神戸・奈良・滋賀に分布する  
岡本圭史<sup>1</sup>，岩本哲人<sup>1</sup>，谷良夫<sup>2</sup>，芝池博幸<sup>3</sup>，鈴木武<sup>4</sup>（<sup>1</sup>神戸市立六甲アイランド高校，<sup>2</sup>兵庫県立尼崎小田高校，<sup>3</sup>農業・食品産業技術総合研究機構，<sup>4</sup>兵庫県立人と自然の博物館）
- ・きぼう実験棟の微小重力環境におけるシロイヌナズナ花茎の成長と細胞壁変化  
谷村佑介<sup>1</sup>，馬淵敦士<sup>1</sup>，曾我康一<sup>1</sup>，若林和幸<sup>1</sup>，橋本隆<sup>2</sup>，保尊隆享<sup>1</sup>（<sup>1</sup>大阪市大・院・理，<sup>2</sup>奈良先端大・バイオ）
- ・急激な温度降下で生じるセントポーリア葉の傷害誘導メカニズム  
大西美輪<sup>1,2</sup>，本岡香奈<sup>2</sup>，角浜憲明<sup>2</sup>，石崎公庸<sup>2</sup>，深城英弘<sup>2</sup>，鈴木祥弘<sup>3</sup>，三村徹郎<sup>2</sup>（<sup>1</sup>神戸大・先端融合研究環，<sup>2</sup>神戸大・院・理，<sup>3</sup>神奈川大学・理）
- ・シロイヌナズナのリン酸濃度応答遺伝子の探索  
鈴木太郎<sup>1</sup>，大西美輪<sup>1</sup>，菅野里美<sup>2</sup>，豊倉浩一<sup>1,3</sup>，郷達明<sup>1</sup>，手塚あゆみ<sup>4</sup>，永野惇<sup>4</sup>，石川亮<sup>5</sup>，石崎公庸<sup>1</sup>，深城英弘<sup>1</sup>，三村徹郎<sup>1</sup>（<sup>1</sup>神戸大・院・理・生物，<sup>2</sup>東京大・生物生産工学センター，<sup>3</sup>大阪大・院・理・生物科学，<sup>4</sup>龍谷大・農・植物生命科学，<sup>5</sup>神戸大・院・農・資源生命科学）
- ・植物のクチクラ形成に関与する新規制御因子の探索  
田中博和，田井聡美，成瀬光，北倉左恵子，柿本辰男（大阪大・院・理・生物）
- ・シロイヌナズナにおける BEN2/VPS45 遺伝子による発生制御機構の解明  
松浦友紀，柿本辰男，田中博和（大阪大・院・理・生物）
- ・被子植物の根端分裂組織に見られるドーム形状の曲線は普遍である  
藤原基洋，藤本仰一（大阪大・院・理・生物）
- ・薬剤を使ったタマネギ根端分裂組織の分裂準備帯形成と核周期進行の部分的脱共役の誘導  
大塚礼己，藪内隆俊，山内大輔，中井朋則，峰雪芳宣（兵庫県大・院・生命理学）

○総会（17:30～17:50）

○懇親会：鳥貴族神戸元町店（18:00～）